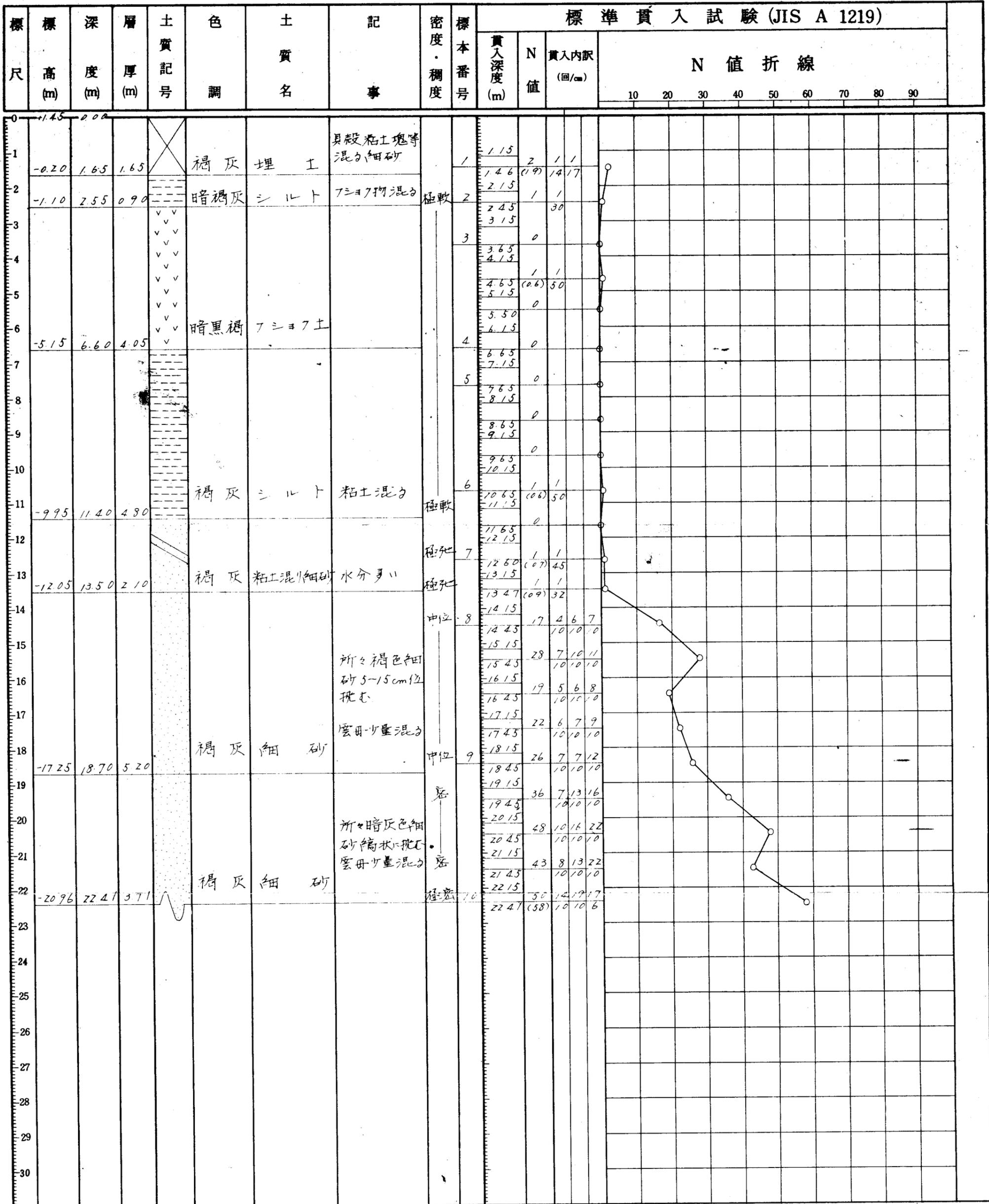


ボーリング No. /

土質柱状図

調査件名 市立(仮称)椿森第二中学校地質調査委託
 調査場所 千葉県千葉市作草部町 1331の1
 調査期日 昭和 49年 4月 18日 ~ 4月 19日

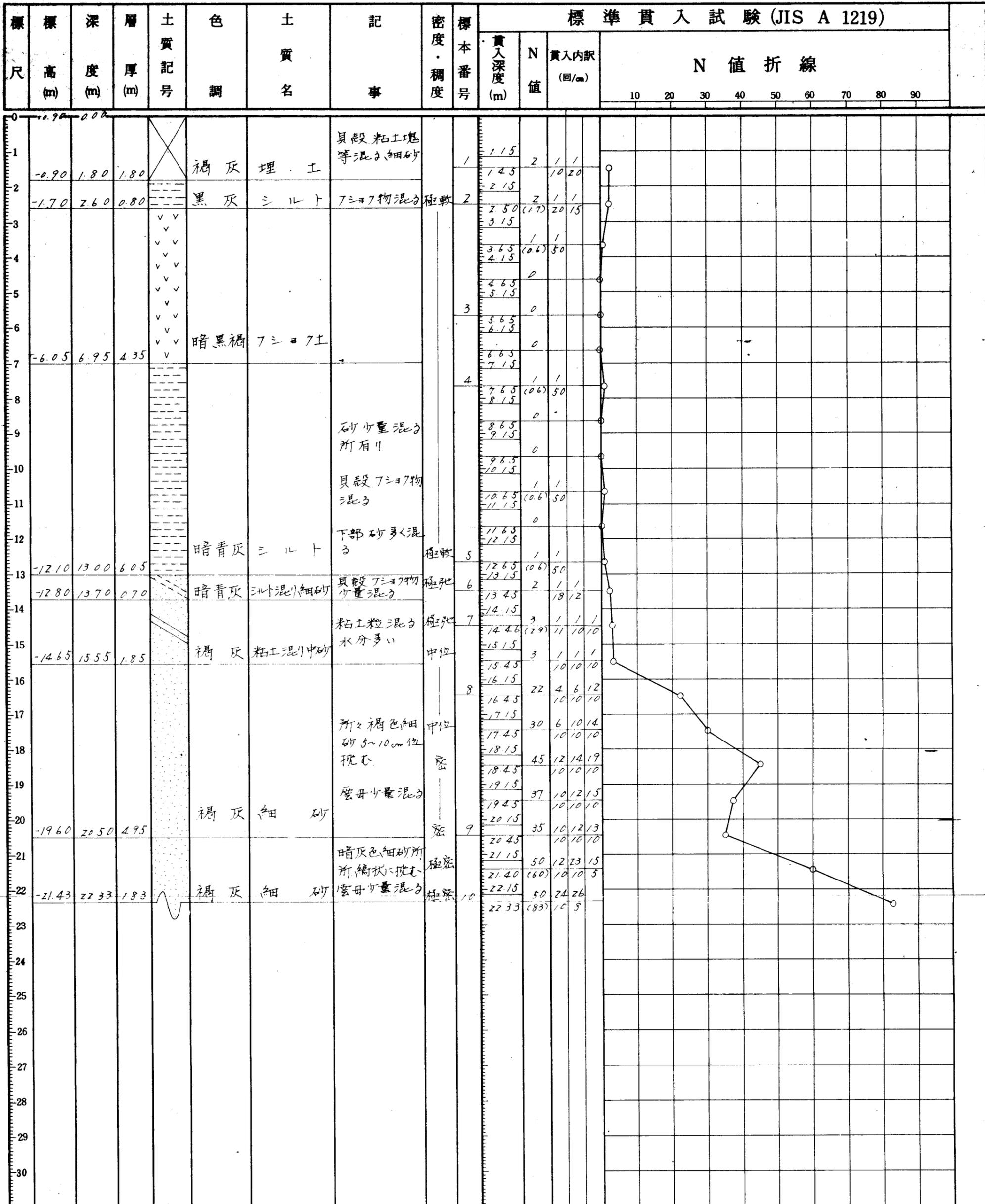
ボーリング工法 ロータリー式 孔径 66 mm
 孔内水位 GL-060 m 標高 BM+1.45 m
 調査担当者



土質柱状図

調査件名 市立(仮称)椿森第二中学校地質調査委託
 調査場所 千葉県千葉市作草部町 1331 の 1
 調査期日 昭和 49年 4月 20日 ~ 4月 22日

ボーリング工法 ロータリー式 孔径 66 mm
 孔内水位 GL - 0.45 m 標高 BM + 0.90 m
 調査担当者



地質柱状図 (No. 1 孔)

調査件名 千葉市立都賀中学校増築地質調査委託

使用機械 KR-100

調査地点 千葉市作草都町 1306-1

標高 仮BM-0.89 m

孔径 φ 86 mm

調査年月日 昭和 56 年 4 月 15 日 ~ 4 月 17 日

孔内水位 GL-0.80 m

調査員 _____

標尺	標高	深	層厚	柱状	土質	色調	記事	相対密度・稠度	孔内水位	標準貫入試験				試料採取深度	原位置試験深度						
										深	N	10cm毎の打撃回数				N 値 回/30cm					
m	m	m	m	図	名				m	m	回/cm	10cm	20cm	30cm	10	20	30	40	m	m	
	-0.89						0.30m付近まで石炭及びコンクリート片を多量混入する。	ゆるい	▽ 1	1.15	8	3	3	2							
1							砂分を主体とし、所々粘性土を混入する。				1.45	30	10	10	10						
2		-3.69	2.80	2.80	埋土	暗黄褐				2.15	2	1	1								
3							含水大きい。	非常に		2.45	31	16	15								
4				腐植土	黒褐		腐植物を多量混入する。				3.15	2	1	1							
5							5.00m付近より腐植した木片を多量混入する。	非常に		4.15	1										
6					腐植土	茶褐					4.50	35									
7		-7.59	6.70	3.90	腐植物混りシルト	暗青灰	含水大きい。腐植物を混入する。	非常に		5.15	36	20	16								
8							含水大きい。多量の砂を混入する。均質である。				5.53	38									
9		-8.39	7.50	0.80	砂質シルト	暗黄灰		非常に		6.15	1										
10							含水大きい。少量のシルトを全体に混入する。				6.52	37									
11								非常に		7.15	0	モルタル								8.00	
12											7.50	35+									8.85
13								非常に		8.15	0	モルタル									
14											8.50	35+									
15		-11.39	10.50	3.00	シルト混り細砂	暗黄灰		非常に		9.15	0	モルタル									
16											9.50	35+									
17							含水中位である。粒子均質である。	非常に		10.15	0	モルタル									
18											10.50	35+									
19								非常に		11.15	2	1	1								
20											11.57	42	15	27							
21								非常に		12.15	1										
22											12.37	36									
23								非常に		13.15	2	1	1								
24											13.45	30	14	16							
25								非常に		14.15	16	5	5	6							
26											14.45	30	10	10	10						
27								非常に		15.15	33	9	11	13							
28											15.45	30	10	10	10						
29								非常に		16.15	32	9	10	13							
30											16.45	30	10	10	10						
31								非常に		17.15	47	14	14	19							
32											17.45	30	10	10	10						
33								非常に		18.15	50	13	17	20							
34											18.44	29	10	10	9						
35								非常に		19.15	50	18	18	14							
36											19.42	27	10	10	7						
37								非常に		20.15	50	16	20	14							
38											20.40	25	10	10	5						
39								非常に		21.15	50	17	21	12							
40											21.39	24	10	10	4						
41								非常に		22.15	50	15	29	6							
42											22.37	22	10	10	2						
43								非常に		23.15	50	29	21								
44											23.32	17	10	7							
45								非常に		24.15	50	22	18	10							
46											24.39	24	10	10	4						
47							25.00m付近、固結した砂片を少量混入する。	非常に		25.15	50	21	29								
48							27.00m付近、貝殻片を多量混入。含水大きい。				25.33	18	10	8							
49								非常に		26.15	50	12	22	16							
50											26.42	27	10	10	7						
51								非常に		27.15	26	7	9	10							
52											27.45	30	10	10	10						
53								非常に		28.15	50	22	20	8							
54											28.37	22	10	10	2						
55								非常に		29.15	50	35	15								
56											29.30	15	10	5							
57								非常に		30.15	50	23	27								
58											30.35	20	10	10							

(注) 1. 試料採取方法の記号

3. 標準貫入試験の項で10cm毎の打撃回数とは最初の10cm貫入に要した打撃回数、10cm-20cmの間で要した打撃回数、20cm-30cmの間で要した打撃回数、30cm-40cmの間で要した打撃回数、40cm-50cmの間で要した打撃回数、50cm-60cmの間で要した打撃回数、60cm-70cmの間で要した打撃回数、70cm-80cmの間で要した打撃回数、80cm-90cmの間で要した打撃回数、90cm-100cmの間で要した打撃回数、100cm以上の間で要した打撃回数

地質柱状図 (No. 2 孔)

調査件名 千葉市立都賀中学校増築地質調査委託

使用機械 KR-100

調査地点 千葉市作草郡町1306-1 標高 1反BM-1.17 m

孔径 φ66 mm

調査年月日 昭和56年4月15日~4月17日 孔内水位 GL-0.75 m

調査員

標尺 m	標高 m	深 度 m	層厚 m	柱状 図	土質 名	色調	記 事	相 対 密 度 ・ 稠 度	孔 内 水 位 m	標準貫入試験						試料採取 深度 m	原位置試験 深度 m			
										深 度 m	N 値 回/cm	10cm毎の 打撃回数			N 値 回/30cm					
												10 cm	20 cm	30 cm	10			20	30	40
1	-1.17						細砂が主体である。 0.30m付近、ロムを混じる。 0.70m以深、貝殻が混り砂である。	中位	▽	1.15	15	7	5	3						
2	-2.77	1.60	1.60		埋土	暗茶褐				1.45	30	10	10	10						
3							繊維質腐植物を混じる。 凝固シルト片、固結ロム片を不規則 に混入。 粘性が強い。含水大きい。			2.15	1	0	1							
4	-4.97	3.80	2.20		シルト	暗褐				2.62	47	19		28						
5							繊維質腐植物を混じる。 所々木片が点在し、シルトを少量混入。 含水大きい。	非		3.15	2	1	1							
6	-7.87	6.70	2.90		腐植土	黒褐		常		3.52	37	13		24						
7							雲母片を混入する。粘性が大きい。 繊維質腐植物を混入。含水大きい。	に		4.15	1	0	1							
8	-9.07	7.90	1.20		砂混りシルト	暗青灰				4.66	51	9		42						
9							繊維質腐植物を混じる。 カキ貝の貝殻片を混じり、粘性が大 さい。	柔		5.15	1	0	1							
10							含水大きい。	か		5.66	51	24		27						
11	-11.87	10.70	2.80		シルト	暗青灰				6.15	1	0	1							
12							雲母片、少量の2枚貝の貝殻小片を混入 12m付近、φ2~3mmの小礫が点在。	い		6.63	48	19		29						
13	-14.37	13.20	2.50		砂混りシルト	暗灰				7.15	0									
14							雲母、少量の貝殻片を混入する。 φ2~3mmの小礫を混入する。 14.30m、青緑の中砂を混入。 含水大きい。			7.80	0									
15										8.15	65									
16										8.80	0									
17										9.15	65									
18							18.40~18.60m付近、黄褐色の シルトを混り、細砂を挟む。			9.80	0									
19	-20.07	18.90	5.70		砂質シルト	暗灰				10.15	65									
20							雲母片を混入する。上部、酸化している。 19.10m付近、φ3~5mmの小礫を 混じる中砂を10cm挟む。 19.20m以深、粒子均一、均質な 細砂である。 含水中位である。	非		11.15	55									
21										11.80	0									
22										12.15	65									
23							24.00m付近、固結シルトを不規則に 混入。			12.80	0									
24										13.15	65									
25	-25.87	24.70	5.80		細砂	暗黄褐				13.80	0									
26							雲母片を混入する。			14.15	0									
27							貝殻片を多量混入。 固結シルトを薄層に挟む。	密		14.80	0									
28										15.15	38	13	25							
29										15.46	3	1	1	1						
30	32.02	30.32	5.62		中砂	暗褐				16.15	1									
										16.51	36									
										17.15	0									
										17.42	37									
										18.15	1	0	1							
										18.60	45	24	21							
										19.15	37	9	12	16						
										19.45	30	10	10	10						
										20.15	50	17	23	10						
										20.39	24	10	10	4						
										21.15	50	16	20	14						
										21.42	27	10	10	7						
										22.15	50	22	28							
										22.31	16	10	6							
										23.15	50	27	23							
										23.30	15	10	5							
										24.15	50	43	7							
										24.26	11	10	7							
										25.15	50	31	19							
										25.28	13	10	3							
										26.15	50	33	17							
										26.28	13	10	3							
										27.15	50	19	26	5						
										27.36	21	10	10	7						
										28.15	50	14	21	5						
										28.36	21	10	10	1						
										29.15	38	9	13	16						
										29.45	30	10	10	10						
										30.15	50	28	22							
										30.32	17	10	7							

(注) 1. 試料採取方法の記号

3. 標準貫入試験の項で10cm毎の打撃回数とは最初の10cm貫入に要した

